

令和3年度 まんごく保育園自己評価（公表）

コロナ禍、職員の自己評価並びに保護者会より頂いた意見を踏まえ、保育園の自己評価を取り纏めましたので公表します。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の視点から熊本市より休園の指示や登園の自粛が要請される中において、保育の見直しをしつつ、取り組みや運営に工夫をしながら進めてきた。

保育計画の編成と実施に関する自己評価については、職員は目標の具体化に向け、職員会議やクラス会議において、その実行を進めてきた。保育においても指導計画を作成し、工夫をしながら取り組んだ。行事についてもコロナの感染状況を踏まえ、保護者会との意見交換を行い、日程変更などの対応をした。

保育の計画の編成と実践を支える諸条件に関しては、合理的な運営、職務内容の明記、配置についても国基準以上の配置により、クラス運営や個々の職員の負担軽減に努めた。適切な会議を開催し、組織運営が潤沢に進むよう工夫して取り組んだ。保健・安全指導についても消防署や熊本市の指導を仰ぎ、各年齢やクラスによる配慮の上実施した。研究研修については、個々のスキルアップやキャリア形成のための研修参加に配慮した。さらに、内容を園内で報告をするなど共通理解を促した。

園児や保護者の個人情報や厳格に取扱い、役所からの連絡など、多くがメールとFAXで届く公文書など慎重な取扱いをし、適切な会計処理を行った。施設設備については、教具の購入など積極的に行い、クラス運営を支えた。

開かれた保育所づくりについては、他施設との交流や未就園児との交流、小学校との交流などほとんどが中止となり、十分な交流連携活動は出来なかったものの、電話等での情報交換など最低限の取り組みのみとなった。また、家庭との連携連絡については、保護者会との定期的な意見交換や懇談、各家庭に対する連絡網の整備を行い、感染症情報を含め、体制を整えた。施設間の交流事業がまったく取り組めない状況を踏まえ、次年度以降は感染症の状況を踏まえ取り組みたい。また行事等保護者の協力を仰ぐ行事については引き続き連携をとり、子ども達の様々な体験に繋がるよう工夫を凝らして実施をしたい。

まんごく保育園における自己評価・自己点検

〔記入方法〕

- ・A, B, C, Dの4段階評価です。該当する欄に○をつけてください。
- ・項目ごとに、意見・改善策を記述してください。

- A:たいへんよい
- B:よい
- C:一部検討を要する
- D:改善を要する

項 目

◎ 保育計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1)保育目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				
	(2)目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3)目標は、社会の要請や保護者の願いを考慮し、作成しているか。	○				
	(4)目標は、前年度を生かしているか。	○				
	(5)目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				
	(2)保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○				
	(3)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4)素材・用具を適切に使用しているか。	○				
	(5)評価結果をもとに保育の改善に努めているか。	○				
日時程	(1)一日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	○				
行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切か。	○				
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的に活動にしているか。	○				
	(4)計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5)保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				

◎保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	(1)能動的、合理的な運営組織になっているか。	○				
		(2)職務内容が明確で、共同できる体制になっているか。	○				
		(3)職員の配置は適材・適所か。	○				
		(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				
	運営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				
		(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し協力や助言を惜むことなく施設の運営に関わっているか。	○				
		(3)打合せの回数、時間、内容は適切か。	○				
	クラス経営	(1)年齢別・クラスの目標は、教育・保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				
		(2)年齢別・クラスの目標は、乳幼児の実態に即しているか。	○				
		(3)年齢別・クラスの目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				
		(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		(5)意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	○				
		(6)評価、資料(諸記録)を集積しているか。	○				
	保健・安全指導	(1)年齢別・クラス運営に生かされるような具体的な保健対策を講じているか。	○				
		(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。	○				
		(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関などと連携を図っているか。	○				
	所内研究・研修	(1)研究主題は、保育目標の具現化に繋がるものであるか。	○				
		(2)所内研修の計画・運営は適切か。	○				
		(3)研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○				
(4)研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○					
所外研究・研修	(1)各種研究会、研修会、講習会への参加体制の充実を図っているか。	○					
	(2)各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○					

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取扱っているか。	○					
	(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○					
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○					
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○					
	(3)不審者に対する周到的配慮を行っているか。	○					
	(4)掲示板、掲示場所などを適切かつ効果的に活用しているか。	○					
出納経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○					
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1)他施設との年間交流計画は、教育・保育目標や課題に添ったものになっているか。	○				コロナ禍、小学校との交流事業は中止となり、連携が十分に取れない。
		(2)他施設等の幼児児童施設生徒と触れあう中で乳幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことが出来るような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
		(3)指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	○				
		(4)参観や保育・授業などに参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。			○		
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
	家庭・地域との連携	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象とした参観日等を設定しているか。	○				コロナ禍で交流事業開催が困難、地域事業も中止。
		(2)保護者を含む地域の人の人材活用の時期・内容は適切か。	○				
		(3)乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○		
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		
	子育て支援の推進	(1)地域の子育て支援センターとして、園庭や中庭、保育室などを開放しているか。		○			地域子育てサークルの支援活動も中止となった。また、園に来ていただく事業が実施できない状況から、子育て支援活動が困難であった。
		(2)地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことが出来るような場の設定を行っているか。			○		
		(3)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○		
		(4)職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(5)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	情報の発信	(1)園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				
(2)行事や子育て支援事業を、地域の連絡会や児童施設・小学校に対して周知しているか。			○				
外部評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○			
	(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	○					